



# 新春インタビュー

## ◆新年の挨拶

**与儀**：明けましておめでとうございます。2021年の新春インタビューと題し、沖縄県社会保険協会の金城会長に今年もお話を伺ってまいります。インタビューはわたくしキャリアコンサルタントの与儀が務めてまいります。金城会長、明けましておめでとうございます。

**金城**：明けましておめでとうございます。

1975年1月に設立された当協会も今年で47年目を迎えました。これもひとえに協会員および関係機関の皆様からのお力添えのお陰です。深く感謝申し上げます。今年も皆様にとって、素晴らしい年になりますようお祈り致します。

## ◆2020年を振り返って

**与儀**：本日インタビューにあたり、昨年新春インタビューを拝見しました。令和という新しい年号に新時代の幕開けを感じ、来たる東京オリンピックへの期待に満ち溢れた内容でした。それが、年初から猛威を振った新型コロナウイルスにより、世の中が様変わりしたように感じました。金城会長は、2020年を振り返ってみて、いかがでしたでしょうか？

**金城**：おっしゃる通りですね。昨年の新春インタビューを見るとよくわかります。新型コロナウイルスの感染拡大により世界は一変しました。コロナ禍により従来の社会活動が制限されたことで、

頭を抱えておられる経営者の方も多くいらつしやるかと思えます。そんな中、「働き方改革」「同一労働同一賃金」「女性の活躍推進」など法改正等への対応を求められている会員の皆様のためにも、協会としてどのようなお手伝いができるかを考えています。

**与儀**：腕の見せ所ですね！個人的には去る6月に施行されたパワハラ防止法への対応も喫緊の課題かと考えています。

**金城**：そうですね。ところで与儀さんはセレンディピティ (serendipity) という言葉をご存知ですか？

**与儀**：いえ。どっという意味でしょうか？

**金城**：平たく言うと、失敗からヒントを得て問題を解決する能力です。スリーエム社のポストイット



■金城棟啓氏 1954年生まれ  
1977年4月 琉球銀行入行  
2012年4月 頭取就任  
2017年4月 会長就任 (現職)  
2013年3月 沖縄県社会保険協会  
会長就任  
他数多くの団体役員兼任

一般財団法人 沖縄県社会保険協会  
会長 金城棟啓

トやコカ・コーラ社のコカ・コーラ誕生秘話などが事例として有名です。ポストイットもコカ・コーラも、作ろうとして作られたものではなく、失敗から生まれたものです。「この失敗作は何かに使えないだろうか」と失敗からヒントを探し出した結果、世界的な成功を収めたのです。失敗を許容して、そこから学んだ文化。失敗を前提に学ぶ文化の中にこそイノベーションが生まれやすいです。

**与儀**：会長のお話を聞いて、ステイブ・ジヨブズ氏のスタンフォード大学での卒業スピーチを思い出しました。「先を見通して点を繋ぐことはできない。振り返って繋ぐことしかできない。だから、将来何らかの形で点が繋がると信じなければならぬ。」彼の言う「点」を失敗も含めた過去の出来事とするなら、その出来事が問題解決のヒントとなる時がきつと来る。そう考えると不思議と前向きな気持ちになります。失敗を恐れている場合ではないな、と。

**金城**：その通りですね。失敗を恐れるのではなく、その失敗を成功に導く「問題」を探すセンスこそ、これからの時代に必要な能力かと思えます。そういう意味で、今回のコロナ禍は、決してネガティブな側面だけではないと思うのです。Google Earthで地球を見ると、そこに国境はありませんね。地球は一つ。その上に数多くの国が存在しています。新型コロナウイルスは、国と国とが協力し合わなければ絶対に沈静化できません。一つの国で押さえ込んだとしても外から入ってきます。だからといって諸外国との繋がりを絶つということ

